

十小地域づくりの会のお知らせ

同じ地域に住む住人同士、お互いを知り合い、地域のことについて話し合う場をつくろう、と清瀬市と清瀬市社会福祉協議会が共催で「十小地域づくりの会」を実施しています。

平成29年2月24日（金）に行われた第9回の会には、地域住民の方、保護者の方、民生児童委員、学校職員、地域活動ボランティア従事者など13名の参加があり、子どもの見守り活動の方法の他、地域の課題を共有する時間ともなりました。

「子どもの見守り」の視点を整理する

どのように見守り活動をしていくか話し合いを重ねてきましたが、ここで今までに出てきた視点を再整理しました。

日常生活の中でそれぞれができる見守り

参加者を広げる視点(情報発信)

交流を含めたイベント的な見守り

住んでいる人の力で地域を良くしようという視点

年末の「ふし見守り」に引き続き

登校時の見守りを行います！

春の交通安全週間

- ◆日時：4月10日（月）、11日（火） 7:30～8:10頃 ※参加できる方は7:30 十小集合
- ◆見守り場所：交通安全指導マップにある危険箇所
- ◆地域づくりの会の方は、緑の腕章が目印です。



「子どもの夕方の居場所」について話し合いたい！

この日2名の新しい参加者がいました。「両親の帰宅が遅いので夕方に帰らない子がいる」「学童クラブは小3までしかない」「5時から7時頃の居場所がない」「退職した層が担い手となってもらえないだろうか」そういった課題を以前から感じていたそうです。そこで子どもの夕方の居場所をつくっていけないだろうか、この会で相談したいと思ったそうです。参加者同士で活発な意見交換がされました。

- どれくらいのニーズがあるか。まずは知り合っている保護者に聞いてみてはどうか。
- 仕事を退職した層は子どもの動きについていけないときもある。高齢者だけでは難しいのではないか。
- 場所はどうか。児童センターが場所提供などはできないものか。
- 「十小地域づくりの会」が組織として立ち上がっていれば、アンケートなどの取り組みもできるのでは。
- 頼みごとができるような近所との関係があれば、解決できる部分もあるのでは。
- 管理責任はどうなるのか。有償でサービス提供しているところは保険加入など対策をしている。
- 子どもの居場所の支援者養成講座などもある。いろいろ学んでみてはどうか。
- 立ち上げる場合は運営費用やリスクなど考える必要がある。専門家に相談するのも良いのではないか。

提案があった地域の課題について、すぐ解決につながったわけではありませんでした。しかしこのような場があれば、みんなで課題を共有し合い、一緒に考えることで解決に向けた第一歩を踏み出すことができると思われたい会になりました。

今回は、「誰もが幸せに暮らせる地域をめざして～自分にもできること、地域をつくること～」をテーマに専門家である日本社会事業大学准教授菱沼幹男氏にお話しいただきます。すでに参加された方もそうでない方もどなたでも参加できます。一緒に地域を良くする取組みを考えていきましょう。

話し合いのサイクル

参加者同士の情報交換や地域を知る

地域の課題や現状について話し合う

課題解決に向けた具体的取組み

活動の継続

世話会会の発足

次回開催は3月27日（月）13：15～ 清瀬第十小学校2階けやきにて
どなたでも参加できます！ぜひおいでください！